

各 位

会 社 名 株式会社ニッセンホールディングス
 代表者名 代表取締役社長 佐村 信哉
 (コード番号 8248 東証・大証第一部)
 問合せ先 執行役員CFO兼財務本部長 石畑 成人
 (T E L 075-682-2041)

第 2 四半期業績予想及び通期業績予想の修正、投資有価証券売却益（特別利益）の計上及び繰延税金資産の取崩し、配当予想の修正並びに役員報酬減額に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 25 年 2 月 1 日の決算発表時に公表した平成 25 年 12 月期（平成 24 年 12 月 21 日～平成 25 年 12 月 20 日）の第 2 四半期連結累計期間及び通期の業績予想の修正をお知らせするとともに、投資有価証券売却益（特別利益）の計上及び繰延税金資産の取崩しの概要につきましてお知らせいたします。また、配当予想につきましても下記のとおり修正するとともに、役員報酬の減額を実施しますのでお知らせいたします。

記

1. 平成 25 年 12 月期第 2 四半期（累計）連結業績予想数値の修正（平成 24 年 12 月 21 日～平成 25 年 6 月 20 日） （単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想（A） （平成 25 年 2 月 1 日発表）	108,300	550	560	330	5.43 円
今回修正予想（B）	102,600	△1,710	△1,320	△1,210	△19.94 円
増減額（B－A）	△5,700	△2,260	△1,880	△1,540	—
増減率（%）	△5.3	—	—	—	—
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （平成 24 年 12 月期第 2 四半期）	70,141	879	1,345	1,139	20.15 円

2. 平成 25 年 12 月期通期連結業績予想数値の修正（平成 24 年 12 月 21 日～平成 25 年 12 月 20 日） （単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A） （平成 25 年 2 月 1 日発表）	216,800	1,600	1,500	1,050	17.30 円
今回修正予想（B）	200,300	△2,800	△2,600	△2,700	△44.50 円
増減額（B－A）	△16,500	△4,400	△4,100	△3,750	—
増減率（%）	△7.6	—	—	—	—
（ご参考）前期実績 （平成 24 年 12 月期）	176,613	602	988	239	4.00 円

3. 修正の理由

(1) 第2四半期（累計）連結業績予想の修正の理由

当社グループの主力事業であるコマース事業において、株式会社ニッセンでは昨年下半年以降、販促効率の改善に向け新規顧客獲得を中心にプロモーションコストを抑制したため稼働客数が減少、また気候の変化に合わせて必要な時に必要なものを購入する実需指向が進んだマーケット環境の中、カタログ発行時の季節感のズレも加わり、既存顧客からの売上も想定以上に減少し営業損益は赤字が見込まれます。加えて、シャディ関連連結3社（シャディ株式会社及び同社の100%子会社である株式会社エニシル、スリーハート・コーポレーション株式会社、以下「シャディ関連連結3社」といいます。シャディ関連連結3社の業績の連結対象期間「平成24年10月1日から平成25年3月31日」）では、基幹システム入替によるトラブルの影響が、販売ピーク時のお歳暮商戦時に発生、また昨年1月～3月の新システム導入時の混乱で発生した売上減の回復を見込んでいましたが、今年1月～3月の売上高は十分には戻らず計画を下回り、販管費の抑制を図ったものの営業損益は赤字となりました。

その他全社関連としましては、平成25年6月20日までに発生した投資有価証券売却益516百万円を特別利益として計上した一方で、株式会社ニッセンの繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産を取崩したことにより法人税等調整額588百万円の計上を見込んでおります。

以上により、第2四半期連結累計期間の連結業績予想数値につきまして、前回発表予想より売上高は5,700百万円の減少、営業利益は2,260百万円の減少、経常利益は1,880百万円の減少、四半期純利益は1,540百万円の減少となる見込みです。

(2) 通期連結業績予想の修正の理由

当社グループの主力事業会社である株式会社ニッセンにおきましては、稼働客数増加に向けての対策を実施するとともに旧来のカタログを見直してネットへの比重を高めていく予定ですが、これまでの稼働客数減少の影響が大きく、短期的には厳しい状況が続くことが予想されます。シャディ関連連結3社やファイナンス事業においては、金融子会社での貸倒引当金の積み増しを見込んでいるものの、下期は概ね年初計画通りの推移を見込んでおります。

以上により、通期の連結業績予想数値につきまして、前回発表予想より売上高は16,500百万円の減少、営業利益は4,400百万円の減少、経常利益は4,100百万円の減少、当期純利益は3,750百万円の減少となる見込みです。

4. 投資有価証券売却益（特別利益）の計上及びその内容

当社及び連結子会社が保有する投資有価証券の一部を売却したことにより、投資有価証券売却益が発生しましたのでお知らせいたします。

(1) 投資有価証券売却の理由

資産の効率化及び財務体質の健全化を図るため。

(2) 投資有価証券売却益の発生期間

平成25年1月21日から平成25年7月3日

(3) 投資有価証券売却の内容

売却資産の種類：当社及び連結子会社保有の上場有価証券6銘柄

売却益：547百万円

(4) 今後の見通し

本件による投資有価証券売却益は、平成25年12月期の連結業績において特別利益として計上いたします。また、本件の投資有価証券売却益547百万円のうち、平成25年6月20日までに発生した投資有価証券売却益516百万円（平成25年12月期第1四半期決算において計上した投資有価証券売却益280百万円を含む）につきましては、平成25年12月期第2四半期決算に特別利益として計上いたします。

5. 繰延税金資産の取崩しの理由及び連結損益に与える影響

当社グループの主力事業会社である株式会社ニッセンの業績見通しを踏まえ、将来の課税所得を保守的に見積り、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、繰延税金資産の全額を平成 25 年 12 月期第 2 四半期決算において取崩すことといたしました。連結損益に与える影響としましては、平成 25 年 12 月期第 2 四半期決算において繰延税金資産の全部を取崩し、法人税等調整額として 588 百万円を計上いたします。

6. 配当予想の修正

基準日	1株あたり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (平成 25 年 2 月 1 日発表)	5.00	5.00	10.00
今回修正予想	5.00	未定	未定
当期実績	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成 24 年 12 月期)	6.00	6.00	12.00

配当予想の修正の理由

第 2 四半期末配当金の予想につきましては、1 株当たり 5 円の配当予想に変更ございません。期末配当金の予想につきましては、本業績修正に伴い、配当方針や財務状況を総合的に勘案したうえで決定いたしたく、現時点では未定とさせていただきます。

7. 役員報酬の減額について

当社及び当社グループの主力事業会社である株式会社ニッセンは、この度の業績予想の修正を真摯に受け止め、その経営責任を明確にするため、下記のとおり役員報酬の減額を実施いたします。なお、年度業績に連動して支給される変動報酬につきましても、本年度はゼロ支給といたします。

(1) 役員報酬減額の内容

株式会社ニッセンホールディングス

代表取締役会長	報酬月額の 25%を減額
代表取締役社長	報酬月額の 30%を減額
取締役常務執行役員	報酬月額の 20%を減額
取締役執行役員	報酬月額の 15%を減額
執行役員	報酬月額の 10%を減額

株式会社ニッセン

代表取締役社長	報酬月額の 30%を減額
取締役常務執行役員	報酬月額の 20%を減額
取締役執行役員	報酬月額の 15%を減額
執行役員	報酬月額の 10%を減額

(2) 対象期間

平成 25 年 7 月から平成 25 年 12 月までの 6 ヶ月間

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績については当社及び当社グループをとりまく様々な要因により、記述されている業績予想とは異なる可能性があります。

以上